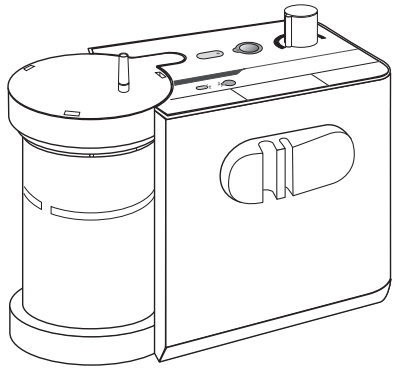
人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL

ポータブル吸引器：ヨックス ポルタ

YOX PORTA S901

認証番号 226AHBZX00026000



取扱説明書

本製品をご利用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で、ご使用ください。

■ はじめに

このたびは、「ヨックスポルタS901」 をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書に従わない取り扱い・操作・整備等を行った場合は、性能が十分に発揮できない上、重大な事故につながることがありますので、本製品を扱う全員の方が見られるよう、いつも本製品のそばにおいてください。
この取扱説明書には安全にご使用いただくための重要な注意事項が掲載されております。
ご使用になる前に必ずよくお読みください。

⚠ 警　告

機器が正常な動作で使用ができても、この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

⃠ 禁忌・禁止

機器の使用目的以外の誤った取り扱いやご使用できない患者、疾患、併用できない医療機器や接続機器などについての事項です。
この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

もくじ

ご使用前に

■作動原理 …… 1
■製品の概要 …… 2
■安全にお使いいただくために …… 3
■各部の名称 …… 4
■各部の機能／構成品／オプション …… 5
■電源の準備 …… 6
■使用準備 …… 10

使うとき

■操作／吸引の開始／停止 …… 13
■廃液の処理 …… 15
■消音フィルターについて／交換 …… 16
■状態ランプ表示ついて …… 17
■Ni-Mh バッテリーについて／禁忌・禁止 …… 18

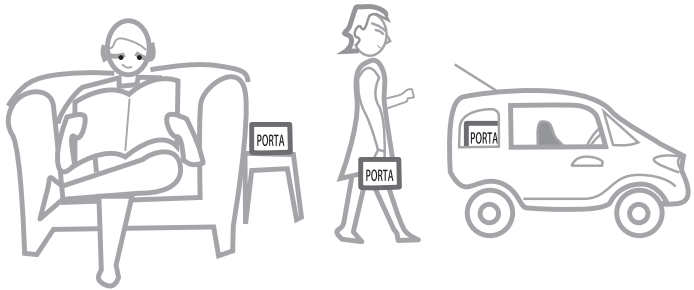
必要なとき

■洗浄及び消毒方法について …… 20
■耐薬品表 …… 21
■吸引フィルターについて／交換 …… 22
■保守点検チェックシート …… 23
■故障かな？と思ったら …… 26
■部品リスト …… 27
■仕様 …… 28
■本体に表示されている記号について …… 30
■廃棄について …… 31

■ 作動原理

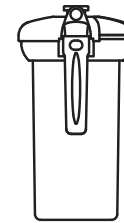
吸引器本体に内蔵した吸引ポンプが吸引圧を発生させます。
コントローラーで調整された吸引圧はフィルターを介して、ボトル内に導かれます。
ボトルにペイシェントホースを接続することにより、体液等の排液を吸引可能となります。
患者から吸引した体液または粒状物質はボトル内に貯留され、ボトルが満杯になると、フロートが作動し、吸引を自動的に停止します。
万が一、フロートが作動しなかった場合や感染物はフィルターにより除去され、吸引ポンプ内に流入することを防止します。

■ 製品の概要

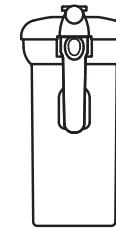


- 医療施設や在宅、外出先など医療配管のない場所で吸引を行うことができます。
- 3電源で使用できますので、災害時や救急の搬送時にも使用可能です。
- 軽量、コンパクトで携帯にも移動にも便利です。
- 低圧吸引から高圧吸引まで、任意の吸引力が得られます。
- 吸引ホースを固定するホースハンガーを付けました。
- オプション部品を使用することにより、当社製品である
  ヨックス GL S511　　（届出番号10B2X00014C00010）
  ヨックスディスポ S711　（届出番号10B2X00014C00011）
  等と組み合わせての使用が可能となっています。

YOX DISPO S711



YOX GL S511



■ 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

医療機器は、その故障や不具合の発生による医療の中断が、患者さんの命に直接的及び間接的に関わる場合があります。
必ず、6ヶ月に1度の保守点検（ユーザー点検）を行ってください。
また、年に1度の製造販売元または修理業者（薬事法上の許可を持つ）による定期点検をお受けください。
（定期点検は有料となります）

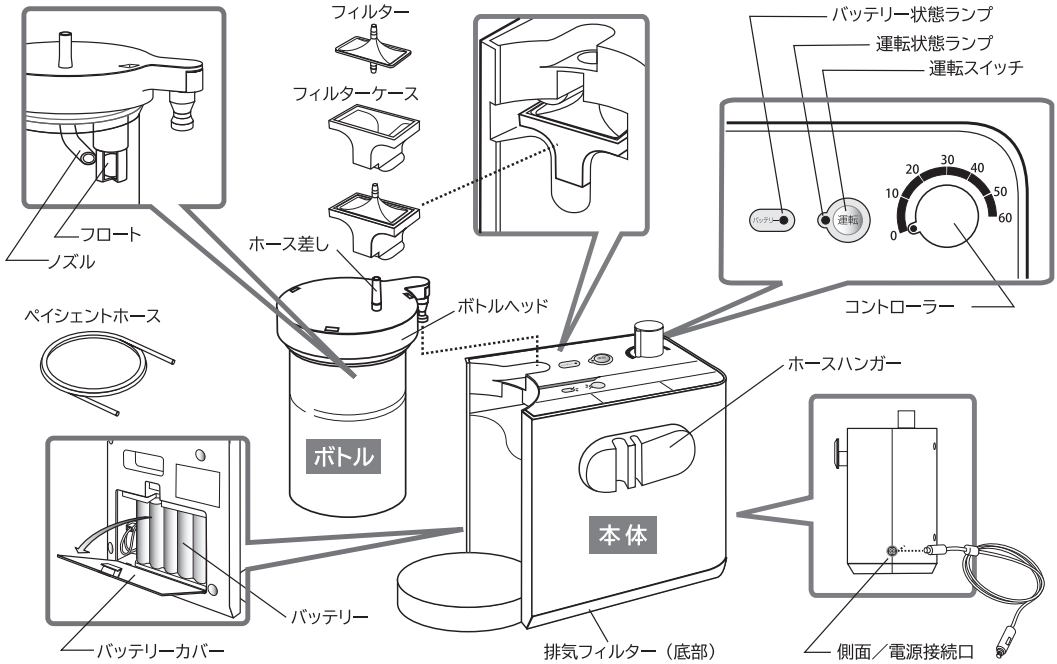
お願い

本器を点検または修理として戻される場合には、ボトル内の排液は必ず捨て、消毒を行った後にお戻しください。
なお、感染症等の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警 告	● 本器は、医師、看護師、または吸引手技の資格を持つ方がお取り扱いください。 ● 絶対に分解及び改造したりしないこと。（正常な機能や安全を保てなくなる。）

⃠ 禁忌・禁止	● 本器の使用目的以外の目的（採血用吸引器など）では、絶対に使用しないこと。 ● 当社の純正品以外は使用しないこと。 ● 故障・異常が確認された、あるいは異常と思われる機器は絶対に使用しないこと。

■ 各部の名称


フィルター
フィルターケース
フロート
ノズル
ホース差し
ボトルヘッド
ペイシェントホース
ボトル
バッテリー
バッテリーカバー
本体
排気フィルター（底部）
バッテリー状態ランプ
運転状態ランプ
運転スイッチ
コントローラー
ホースハンガー
側面／電源接続口

■ 各部の機能／構成品／オプション

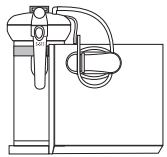
下記の製品が揃っているかどうか確認してください。
お買い上げ時に製品の外観に傷、不具合等がございましたら、使用しないで販売店にご連絡ください。

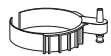
- ヨックス ポルタ S901 ポンプ本体
- ボトル・ペイシェントホース・添付文書
- 取扱説明書・ボトルの取扱説明書

オプション

壁掛け式吸引器をセットする。

本器はオプション部品と組み合わせることで、当社の壁掛け式吸引器との接続が可能になります。





ボトルホルダー



ブラケット

（ヨックス GL S511
届出番号 10B2X00014C00010
を組み合わせた場合）

ポンプ本体	・吸引ポンプを内蔵し、吸引源となります。
コントローラー	・吸引ポンプが発生した吸引圧力を調整します。 ・0 ～−60kPa までペイシェントホースを閉塞したときの最大圧力を設定することができます。
運転スイッチ	・本器の運転を ON, OFF します。
運転状態ランプ	・本器の状態を示します（17 ページ参照）。
バッテリー状態ランプ	・バッテリーの状態を示します（17 ページ参照）。 ・バッテリーが接続されていない場合は、ランプは点灯しません。
ボトル	・排液を貯留します。容量は 700mL（Full Level）。
ボトルヘッド	・ボトルの蓋となり、ボトル内に貯留した排液を密閉します。
ホース差し	・ペイシェントホースを取り付けます。接続するホースは内経 6mm のものをご使用ください。
フロート	・排液が満杯（700mL）になったときに、吸引を自動停止させます。
フィルター	・吸引ポンプへの排液や感染物の流入を防ぎます。
フィルターケース	・フィルターを収納し、本器への取り付けを可能にします。
ペイシェントホース	・本器と吸引カテーテルを接続します。 ・吸引カテーテルがB形装着部になります。
バッテリーカバー	・Ni-Mh バッテリー収納部のフタです。
ホースハンガー	・本器を使用しないときに、ペイシェントホースを巻くことができます。
排気フィルター	・排気音を減少させます。

■オプション

ブラケット	本器と当社壁掛け式吸引器を接続します。30cm ホース付。
ボトルホルダー	本器に当社壁掛け式吸引器を接続する際の、ボトルの保持。

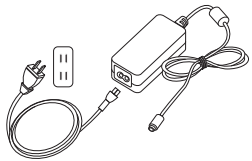
■ 電源の準備 1

＜3電源で使用できます＞

本器は、3電源方式でお使いになることのできる医療用吸引器です。
バッテリー駆動やカーアダプターでの使用が可能なため、在宅や医療施設だけでなく、搬送時や非常時にも使用できます。

⚠ 警告 追加の電源（バッテリー、カーアダプター）は定期的な点検又は交換が必要です。

AC / DC アダプター

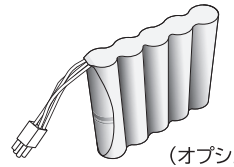


交流100Vコンセントで使用可能です。

⚠ 注意

- 本器に使用している電源コードプラグの形状は、交流100V日本国内用です。
- 本器は交流100V電源での使用時に、JIS T 0601-1（医用電気機器安全に関する一般要求事項）に適合しています。

Ni-Mh バッテリー



（オプション）

交流 100V コンセントに接続しない状態で、DC12V を供給することができ、約 30 分（JIS T 7208-1 に基づく）の連続運転が可能です。

カーアダプター



（オプション）

DC12V 仕様の自動車のシガーソケットに接続することができます。

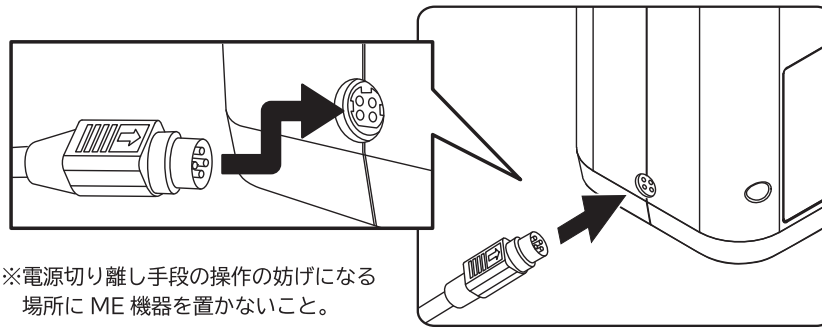
⚠ 注意

- 直流24V仕様の車輌では使用できませんので、ご注意ください。

■ 電源の準備　2

AC/DC アダプター

（1）AC/DCアダプターを本器に接続し、AC100Vコンセントにつなぎこんでください。
このとき、アダプター接続部の矢印がある面を上にして接続してください。
無理な接続や逆差しをしないように注意してください。



※電源切り離し手段の操作の妨げになる
場所に ME 機器を置かないこと。

（2）本体の運転スイッチを押すと、運転状態ランプが点灯し、本器が作動します。

（3）差し込みプラグを電源コンセント（商用）から抜くときは、コードを引っ張らず、差し込みプラグを持って抜いてください。

■ 電源の準備　3

カーアダプター

（1）カーアダプターを本体に接続し、自動車のDC12V用シガーソケットにつなぎこんでください。
（2）本体の運転スイッチを押すと、運転状態ランプが点灯し、本器が作動します。

⚠ 注意

- 本器の電源入力は直流12Vです。
  ご使用になる前にカーバッテリーの電圧を確認してください。
  これ以外の電圧では絶対使用しないでください。
  故障の原因となります。（大型車等では直流24Vの場合があります）
- 停車した状態で、車内の安定した場所に設置してお使いください。
- 本器を充電または使用している時は、自動車のバッテリーあがりを防ぐため、エンジンをかけたままにしてください。
- 車内の換気に十分注意してお使いください。（車内へ排気ガスが入らないよう、周囲の状況にも注意してください）
- 自動車のエンジンを停止したときは、必ずカーアダプターのプラグを抜いてください。

■ 電源の準備　4

Ni-Mh バッテリーで使用するとき

（1）本器にNi-Mhバッテリーを接続します。
「AC/DCアダプター」「カーアダプター」は接続しないでください。

（2）運転時間は満充電時で約30分です。
使用前に必ず、バッテリー残量が十分であるかどうか（バッテリー状態ランプが点滅していないこと）確認してください。

⚠ 注 意 • 動作時間はいずれも目安の時間です。ご使用期間・頻度により短くなることがあります。

（3）本体の運転スイッチを押すと、運転状態ランプが点灯し、本器が作動します。

⚠ 注 意 • バッテリーを長持ちさせるためにも、ご家庭でご使用の場合は、できる限り交流電源でご使用ください。
また、同様に車載でご使用の場合は、できる限りカーアダプターでご使用ください。

（4）バッテリー残量にあわせて、バッテリー状態ランプが残量状態をお知らせします。

⚠ 注 意 • バッテリーを初めて使用するときは、バッテリーの充電を行ってください。
• 吸引器が運転中はバッテリーの充電は行われません。
• バッテリー状態ランプが点滅した場合は、速やかに本器の使用を中止し、バッテリーの充電を行ってください。

■ 使用準備　1

〈ボトルヘッド、ボトルのセット〉

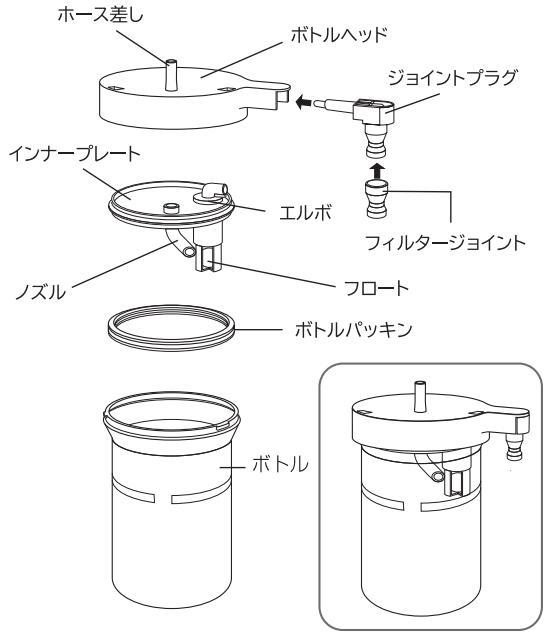
（1）ボトルヘッドにインナープレート、ノズル、エルボ、フロート、ボトルパッキン、ジョイントプラグ、フィルタージョイントが取り付けられていることを確認し、各部品の勘合にガタつきがないことを確認してください。

（2）赤丸印に合せてボトルヘッドをボトルに取り付けて、時計回りに回して組み合わせてください。

（3）吸引手技中に吸引が自動停止しないようボトルの中の排液は空にしておいてください。

禁止

ひび割れ、またはキズのあるボトルは絶対に使用しないでください。
ボトルが破裂し、けがの原因または飛散した汚物などにより感染の危険性があります。

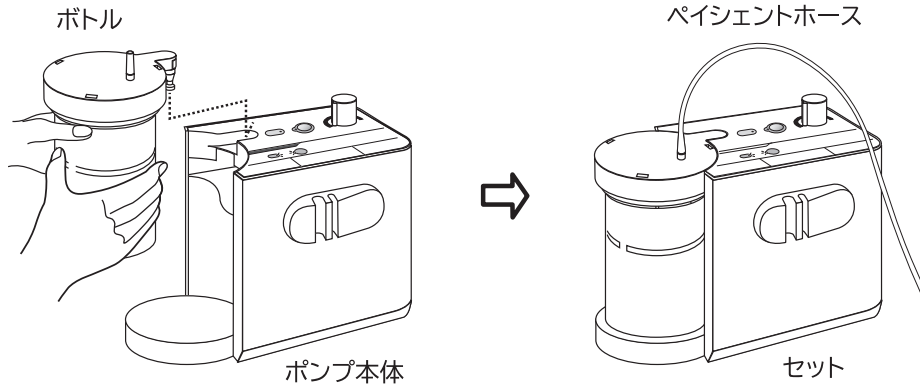


■ 使用準備 2

<ボトルをポンプ本体にセットする>

(1) ボトルと一体となったボトルヘッドのフィルタージョイントをポンプ本体の凹部に差し込んでください。

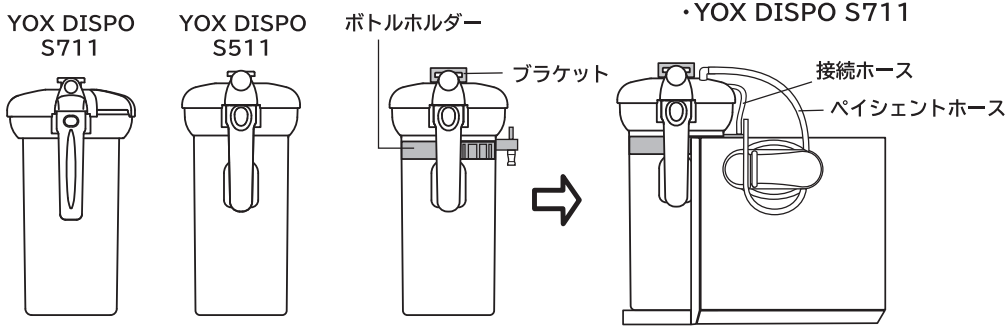
(2) ホース差しにペイシェントホースを差し込んでください。
当社製以外のチューブをペイシェントホースとして、使用する場合は内径6mmのものをご使用ください。



■ 使用準備　3

<当社製壁掛け吸引器とポンプ本体を組み合わせる場合>

・YOX GL S511
・YOX DISPO S711



（1）当社製壁掛け吸引器の取扱説明書に従って、ボトルとボトルヘッド（もしくはキャニスターとキャニスターヘッド）を準備します。

（2）当社製壁掛け吸引器のボトルヘッド（もしくはキャニスターヘッド）にブラケットを取り付けます。

（3）ポンプ本体の凹部にボトルホルダーを取り付け、ボトルホルダーとブラケットを付属ホースで接続します。

（4）ボトルホルダーに当社製吸引器のボトル（もしくはキャニスター）を差し込みます。

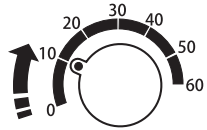
（5）当社製吸引器のホース差しにペイシェントホースを差し込んでください。当社製以外のチューブをペイシェントホースとして使用する場合は、内径6mmのものをご使用ください。

■ 操作／吸引の開始／停止

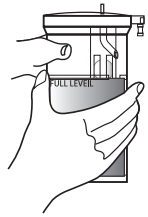
1．吸引の開始



（1）運転スイッチを押し、運転状態ランプが点灯し、ポンプ本体内の吸引ポンプが作動することを「音」で確認してください。
運転状態ランプ・バッテリー状態ランプが交互点滅している場合エラーが発生しているため「故障かな?と思ったら」（26ページ）を参照してください。



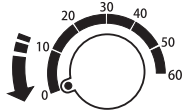
（2）コントローラーを目盛「10」に設定し、ペイシェントホースの先端を水に入れるか、親指の腹を当てて吸引が確かにあるか確認してください。
この時、圧力が強すぎるまたは弱すぎると感じた場合は、使用を中止し点検を依頼してください。



（3）コントローラーはホースを閉塞したときの最大圧を示します。
所望の圧力に設定することで、吸引が可能となります。

（4）吸引した排液はボトルに貯留します。
貯留した排液量が700mL（Full　Level）になったら、吸引を停止し、ボトル内の排液を処理してください。

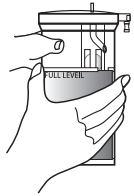
2. 吸引の停止



（1）コントローラーを左一杯に回転させてください。

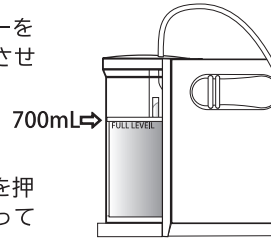


（2）運転スイッチを押し、電源を切ってください。



（3）使用後は速やかにホース差しからペイシェントホースを外し、ボトルに貯留した排液を処理し、本器の手入れを行ってください。

3. 吸引の自動停止



（1）ボトルに貯留した排液が満杯（700mL 以上）になると、排液のオーバーフローを防止するため、フロートがボトルヘッドの吸引通路を閉鎖し、吸引が自動停止します。



（2）吸引が自動停止したら、吸引口から排液が漏れるおそれがあるため、ペイシェントホースの吸引口を上へ向けた状態で電源を切り、ホース差しからペイシェントホースを外してください。

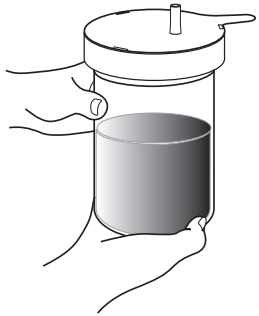
（3）その後、排液の処理を行ってください。

⚠注 意

自動停止が正しく行われるよう、使用前にフロート周辺の組立が正しく行われているか確認してください。また、吸引が正しく行われるようフロートがくっついた状態になっていないか確認してください。

■ 排液の処理

（1）取り外したボトルはそのままの状態で液状廃棄物指定の処理室に運んでください。



（2）ボトルを机上に置き、ボトルヘッドを外し、吸引物を所定の廃棄施設に廃棄してください。

ボトルヘッドを外す際は、ボトルをしっかり保持し、ボトルの内容物のこぼれに注意してください。



（3）必要に応じてボトル、ボトルヘッド、フロートならびに周辺部品を洗浄及び消毒してください。
吸引器本体は精密な構造の為、取り扱いに注意し、内部の洗浄・消毒はしないでください。
洗浄及び消毒は、取扱説明書 20 ページを参照してください。
消毒薬の選定は 21 ページの表を参照してください。

■ 消音フィルターについて／フィルターの交換

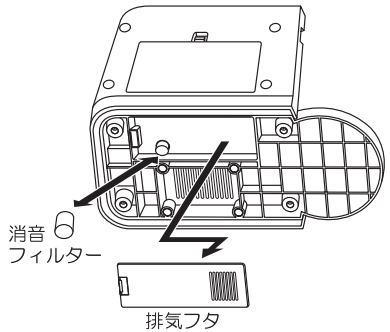
<消音フィルターについて>

（1）排気音減少のため、排気口にフィルターを備えております。

（2）消音フィルターの汚れや吸引力が弱くなったと感じられる場合は、消音フィルターを交換してください。

（3）消音フィルターは未滅菌品であり、ディスポーザブル製品です。洗浄・消毒、滅菌は行わないでください。

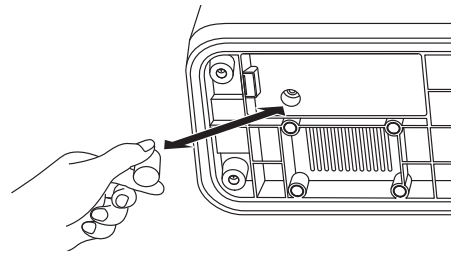
<消音フィルターの交換>



（1）ポンプ本体の底面にある、排気フタを外してください。

（2）セットしてあるフィルターを取り外し、新しい消音フィルターと交換します。

（3）排気フタを取り付け完了です。

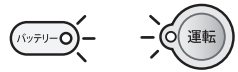


■ 状態ランプ表示について

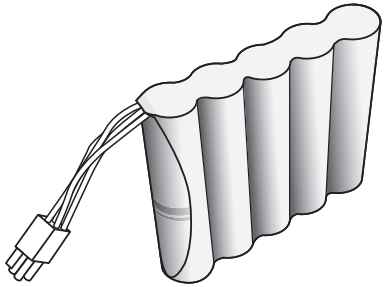
使用中は運転状態ランプとバッテリー状態ランプの表示に注意し、表示状態に応じて、以下の内容に従ってください。

運転状態ランプ		
点滅		充電中です。
点灯		運転中です。
消灯		運転をしていません。

バッテリー状態ランプ			残量
点滅		バッテリー残量がありません。速やかに使用を中止し、バッテリーの充電を行ってください。	約 0% ~35%
点灯		バッテリー残量が少なくなってきました。	約 35% ~60%
消灯		バッテリー残量は十分です。	約 60% ~100%

運転状態ランプ・ バッテリー状態ランプ		エラーが発生しています。運転スイッチを3秒間長押してください。それでもエラーが解除されない場合は購入した販売店か、お近くの営業所に修理をご依頼ください。

■ Ni-Mh バッテリーについて



Ni-Mh バッテリー

寿命の目安

500回の充放電が可能です。
但し、極端な環境温度、過充放電をするような状態では寿命が減少する可能性があります。

保管と輸送

6ヶ月を超えて保管する場合は、機能低下を防ぐために、少なくとも1～2ヶ月以内に一度、充電を行ってください。
輸送中は、バッテリーを清潔で乾燥した通風の良い場所においてください。激しい振動、衝撃、押出しを避けてください。

禁忌・禁止

次の事項に反することはバッテリーの液漏れ、加熱、爆発、出火及び傷害を引き起こす可能性があります。

■ Ni-Mh バッテリーについて／禁忌・禁止

• バッテリーを加熱しないでください。
• バッテリーに衝撃を与えないでください。
• バッテリーに直接リード線を接続しないでください。
• バッテリーの陽極と陰極を接触させないでください。
• バッテリーを分解しないでください。
• 金属ネックレスや鍵、その他の導電性のものに触れないようにしてください。
• バッテリーを充電する際は、当社指定のものをご使用ください。
• 水、海水またはその他の酸化反応物をバッテリーに接触させないでください。 錆や発熱の原因になります。
• 本バッテリーは内部に無色の強アルカリ液（電解液）を含んでいます。 電解液は肌を冒すので、肌や衣服にバッテリー液が触れた場合は、ホウ酸液もしくは、酢酸液で洗浄し、その後、水で洗い流してください。
• 乳幼児の手の届かないところへ置いてください。 バッテリーを誤飲したり、舐めたりした場合は、医師の診断を受けてください。
• 動作時間が購入時よりも、極端に短くなっている場合は寿命が来たものとして、新しいバッテリーへ交換してください。

■ 洗浄及び消毒方法について

1. 使用後は速やかに洗浄を行うこと。
   100℃を超える熱湯での洗浄及び蒸気滅菌をしないでください。
2. 薬液による洗浄・清拭及び浸漬消毒を行う場合には、医療従事者の判断のもと、適した薬品を選択し、薬品に記載の注意書き、用法、用量等を必ずお守りください。
   消毒処理後は滅菌水などですすぎ洗いし、よく乾燥させてから、正しく組立てた後、所定の保管場所にて保管してください。
   すぐに使用しないときは、ポリ袋などに収納し、所定の保管場所にて保管することをおすすめいたします。
3. 消毒薬としてはグルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテン、マスキン液など）、塩化ベンザルコニウム（オスバン、ヂアミトールなど）といったプラスチック樹脂に優しい消毒薬品をご使用ください。
   クレゾール、次亜塩素酸ナトリウム、アルコール系、植物系油、鉱物系油などの消毒薬品は使用しないでください。消毒薬の選定は次ページの表を参照してください。
4. ボトルを長時間消毒薬に浸漬しないでください。
   表1.で○の薬品でも不具合を生じることがあります。浸漬時間は、消毒液の添付文書等を参照願います。
5. 洗浄及び消毒方法また消毒剤の種類によりプラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因となります。
6. ボトルの耐熱温度は100℃以下です。
   100℃を超える温度での洗浄・消毒、滅菌は行わないでください。
   また、急激な温度変化は亀裂・破損の原因となります。
7. プラスチック製品部の洗浄には、柔らかいスポンジを使用ください。たわしやブラシのような硬いものでの洗浄は、表面にキズがつきますので使用しないでください。

■ 耐薬品表

一 般 名	商 品 名	可 否
グルコン酸クロルヘキシジン	• ヒビテン・グルコネート（但しアルコール希釈不可） • ヒビテン（但しアルコール希釈不可） • ヒビスクラブ（但しアルコール希釈不可） • マスキン液（但しアルコール希釈不可）	○
塩化ベンザルコニウム	• オスバン・ヂアミトール	○
グルタラール	• ステリハイド・サイデックス	○
クレゾール		×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	• テゴ 51 • アノン 300	×
アルコール	• メタノール・エタノール	×
ヨウ素及びヨウ素化合物	• イソジン	○
塩化ベンゼトニウム	・ハイアミン	○
次亜塩素酸ナトリウム	• ハイター • ピューラックス・ミルトン・テキサント	×

■ 吸引フィルターについて／フィルターの交換

<吸引フィルターについて>

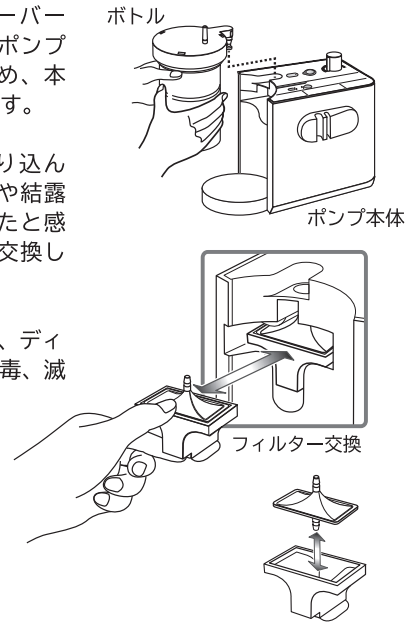
（1）万が一、排液がボトルからオーバーフローをした場合や細菌が吸引ポンプ内に入り込むことを防止するため、本器は吸引フィルターを備えています。

（2）排液が吸引フィルター内に入り込んだ場合、吸引フィルターの汚れや結露が目立つ場合、吸引が弱くなったと感じた場合は、吸引フィルターを交換してください。

（3）吸引フィルターは未滅菌品であり、ディスポーザブル製品です。洗浄・消毒、滅菌は行わないでください。

（4）吸引フィルターの交換時期は使用頻度や吸引の状態等により異なります。安定した吸引を行うためにも1年毎の定期的な交換をお勧めします。

<吸引フィルターの交換>



（1）ポンプ本体からボトルを外してください。

（2）フィルターケースを引き抜き、セットしてある吸引フィルターを取り外し、新しい吸引フィルターと交換します。

（3）逆手順で本体に取り付けます。

（4）吸引フィルター取り付け後は、取り付け部周辺に漏れがないかを確認してください。

■ 保守点検チェックシート 1

安全及び性能を維持するために、保守点検は必ず行ってください。怠りますと、重大な事故につながることがあります。

No.	確認部位	確認内容	点検結果	備考
1	ポンプ本体	• 外観にガタつきや傷、割れがないこと。		
		• 運転スイッチと連動して、吸引ポンプが作動すること。		
		• ホースハンガー折れや、ガタつきがないこと。		
2	運転スイッチ	• スイッチの動作と運転状態が正しく連動すること。		
3	運転状態ランプ	• 運転、充電の状態に応じて、正しく表示すること。		
		• エラー表示がないこと。		
4	バッテリー状態ランプ	• バッテリーの状態に応じて、正しくバッテリー状態ランプが表示すること。		
		• エラー表示がないこと。		
5	コントローラー	• ハンドル動作に固さや空回りがないこと。		
		• ハンドルに傷や割れがないこと。		
6	ボトルヘッド	• 内側部品（ボトルパッキン、ノズル等）に消耗や変形がないこと。		
		• ホース差しに折れや割れがなく、正しくペイシェントホースの取り付けができること。		
		• ボトル、吸引器本体と組み合わせたときに正しく吸引ができ、気密が保たれていること。		

■ 保守点検チェックシート　2

No.	確認部位	確認内容	点検結果	備考
7	フロート	• 正しく取り付けが出来て、吸引が自動停止すること。		
8	ボトル	• 傷や割れがないこと。		
		• 清潔性が保たれていること。		
9	吸引フィルター／排気フィルター	• フィルターにひどい汚れや結露がないこと。		
		• フィルター接続部との勘合がよいこと。		
10	ペイシェントホース	• 清潔性が保たれていること。		
		• 曲がり癖や折れがないこと。		
		• 正しくホース差しに取り付けができること。		
11	AC/DCアダプター	• AC100V コンセント、吸引器本体に正しく取り付けができること。		
		• 断線や被覆の剥がれがないこと。		
12	バッテリー	• 断線や被覆の剥がれ、液漏れがないこと。		
		• 充電が正しくできること。		
		• 使用時間が短くなっていないこと。		

■ 保守点検チェックシート 3

No.	確認部位	確認内容	点検結果	備考
13	カーアダプター	• シガーソケットに正しく接続ができること。		
		• 断線や被覆の剥がれがないこと。		
14	外観	• 各部に割れや損傷がないこと。　• 清潔性がよいこと。		
15	操作性	• 操作性は良いか、各ネジ込み部に硬い緩いはないか。		
16	吸引性能	• 各圧力に設定でき、所定の吸引流量が得られること。		
17	気密性	• 各接続部分に漏れが無いこと。		
18	その他	• 異音、異臭、ガタつきなど気づいたことはないこと。		

- 各部の名称は4～5ページを参照してください。
- 使用後6ヶ月毎、もしくは中古販売や賃貸の前に必ず上記内容を確認してください。
- 異常が確認できた場合には、最寄りの取り扱い店、もしくは当社営業所に点検をご依頼ください。
- 吸引性能の確認のため、1年に一度当社にご依頼いただくことをお勧めします。

修理について

修理サービスはお買い上げの販売店にご相談の上、製造販売元または修理業者（薬事法の許可を持っている）で行ってください。

■ 故障かな？と思ったら

故障や不調の場合、修理を依頼される前に下記の対策をお試しください。
正常に作動する場合があります。各処置を行っても正常に作動しない場合は、本器を購入した販売店か、お近くの営業所にご相談、修理をご依頼ください。

現　象	原　因	対　策
●吸引器本体が作動しない。 ●運転状態ランプが点灯しない。	AC/DC アダプター、Ni-Mh バッテリー、カーアダプターが正しく接続されていない。	7～9ページを参照し、確実に電源を接続してください。
	バッテリーが充電されていない。	9ページを参照し、バッテリーの充電を行ってください。
●バッテリー状態ランプが点灯しない。	充電が完了している。	充電が完了しています。
	バッテリー残量が極端に減っている。	新しいバッテリーに交換してください。
●運転状態ランプ・バッテリー状態ランプが交互点滅している。	エラーが発生している。	運転スイッチを3秒間長押ししてください。
●吸引器本体は動作しているが、吸引ができない、弱い。	吸引が漏れている。	10 ページを参照し、正しい手順で組立てられているか確認してください。
	フィルターが汚れている。	22 ページを参照し、フィルターを交換してください。
	フロートがくっついた状態。	フロートを元の位置に戻してください。
●吸引圧調整ができない。	吸引が漏れている。	10 ページを参照し、正しい手順で組立てられているか確認してください。
	フィルターが汚れている。	22 ページを参照し、フィルターを交換してください。
●バッテリー使用時間が短い。	充電が不十分。	9ページを参照し、Ni-Mh バッテリーを充電してください。
	蓄電能力が低下している。	新しいバッテリーに交換してください。
●起動時にエラーとなる。	ポンプ内の内圧が高くモーターに高負荷がかかり、安全装置によりエラーとなる。	ポンプ内の内圧が高いと駆動できないことがあります。ハンドルを右に回すことで圧力を開放することができます。一度ハンドルを右に回し再度駆動してください。

■ 部品リスト

部品のご注文に際しては、本リストの部品名称、部品番号及び数量をお知らせください。

■ヨックスポルタ（S901）

	部品名称	コード番号	数量
	ヨックスポルタ（S901）	3370001	1
	ポンプ本体（フィルター、フィルターケース含む）	3370011	1
ポンプ本体	フィルター	3371021	1
	フィルターケース	3371022	1
	バッテリーカバー	3371024	1
	排気フィルター	3371038	1
ボトル	ボトルヘッド（組）	3371001	1
	ボトルヘッド	3371031	1
	エルボ	3371032	1
	フロート	3371033	1
	インナープレート	3371034	1
	ボトルパッキン	3371035	1
	ノズル	338006	1
	ジョイントプラグ	3371036	1
	フィルタージョイント	3371037	1
	ボトル	3371002	1
	ベイシェントホース	322021	1
	AC/DC アダプター	3371053	1

■オプション

Ni-Mh バッテリー	3371051	1
カーアダプター	3371052	1
ブラケット・ホルダーセット	3371023	1

＜保証期間＞

当製品（消耗品は除く）の保証期間は、お求めの日から1年間です。

■ 仕　様

販売名	ヨックスポルタ　S901
認証番号	226AHBZX00026000
類別	機械器具（32）医療用吸引器
一般的名称（JMDN コード）	電動式可搬型吸引器（3661030）
医療機器クラス分類	管理医療機器（クラスⅡ）
吸引圧力	0 ～−60kPa
吸引流量	24.5L/min（−60kPa 時）
排気流量	27L/min（ポンプ単体）
ボトル容量	800cc（Full　Level 700cc）
電源	交流 100V（50-60Hz）55VA（無負荷時）110VA（最大負荷時） AC/DC アダプター　形式：ATM065T-A120 直流 12V　5A（自動車用カーアダプター使用時）
ポンプ	オイルレスダブルピストン式エアコンプレッサー
バッテリー	ニッケル水素電池
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器／内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	B 形装着部
定格運転時間／休止時間	30 分／ 2 時間
バッテリー動作時間　※	約 30 分
充電時間	3 時間

■ 仕　様

使用環境条件	周囲温度5～35℃、相対湿度85%以下、結露なし、 気圧：90kPa～106kPa
充電環境条件	周囲温度10～45℃、雨水、水滴がかからず、かつ、 結露等のない場所
輸送、保管環境条件	周囲温度－10～60℃、相対湿度85%以下、雨水、 水滴がかからず、かつ結露等のない場所 気圧：80kPa～106kPa
本体寸法（mm）	290×235×170mm（それぞれ±1mm）
重量	約3kg （AC/DCアダプター、バッテリー等を除く）

本製品はEMC規格 JIS T 0601-1-2：2012に適合しています。
ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。
取扱説明書に従って、正しくご使用ください。

※　バッテリーによる動作時間は、JIS T 7208-1に基づく実測値です。
　　吸引に大きく負荷がかかる場合やバッテリーが満充電ではない場合は短い動作時間となります。

■ 本体に表示されている記号について

記号	意味	内容
	B形装着部	電撃に対する保護の程度に依る装着部の分類がB形であることを示します。
EMC適合	EMC 適合	本製品はEMC規格 JIS T 0601-1-2：2012に適合しています。 ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。 取扱説明書に従って、正しくご使用ください。
	クラスⅡ機器	電撃に対する保護の形式がクラスⅡであることを示します。 （交流電源使用時）
	注意	本書（取扱説明書）を必ずお読みになり、正しくご使用してください。
	交流	交流電源使用時の電源電圧は交流100Vです。
	直流	バッテリー及びカーアダプター使用時の電源電圧は直流12Vです。

■ 廃棄について

廃棄について

本器（付属品、別売り品を含む）を廃棄する場合は、感染症の恐れがあるため、適合する法規やお住まいの市区町村の指導に従ってください。

お願い

この説明書に記載された簡単な処置では解決できない問題が生じたときには、直ちに緊急連絡先へご連絡ください。
電話番号は下記のとおりです。
ご自身で修理を試みることは絶対におやめください。

緊急連絡先

人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL

発売元：株式会社 小池メディカル
本社■〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-24-8
TEL：03-5662-6605（代）
http: //www.koike-medical.co.jp/

製造販売元
株式会社 群馬コイケ 〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1

■お問い合わせは

2021.10